

-아/어 대다

～しまくる、しきりに～する

繰り返しの激しさを表します。日本語の「しまくる」に近く、迷惑や呆れの色を帯びます。

■ つけ方

語幹の母音	形	例
ㅏ・ㅗ	-아 대다	올다 → 올아 대다
それ以外	-어 대다	떠들다 → 떠들어 대다
하다	해 대다	불평해 대요
よく使う語	올다・떠들다・먹다	うるさい行為
形容詞	つかない	좋아 대다 (×)
分かち書き	補助動詞	올아 대다

■ 使い方と注意

繰り返しの激しさを表します。아이가 밤새 울어 댔어요 (子どもが一晩中泣きわめきました)。

否定的な色を帯びます。「うるさい」「迷惑だ」という話し手の評価が入ります。日本語の「しまくる」「わめく」に近い響きで、中立的な繰り返しには使いません。

音や動きが激しい行為と組むのが典型です。올다、떠들다、웃다、먹다 など。

形容詞にはつきません。繰り返される行為を表すからです。

■ 例文

- 1

아이들이 밤새 떠들어 대는 통에 한숨도 못 잤다.

子どもたちが一晩中騒ぎ立てるので、一睡もできませんでした。
- 2

아기가 그치지 않고 울어 대서 어쩔 줄 몰랐어요.

赤ちゃんが泣きやまずに泣き続けて、どうしていいかわかりませんでした。
- 3

그는 하루 종일 불평해 대기만 했다.

彼は一日中不平を言い立ててばかりいました。
- 4

먹어 대는 걸 보니 배가 몹시 고파던 모양이다.

あんなに食べまくるところを見ると、よほどお腹が空いていたようです。
- 5

기자들이 질문을 쏟아 대는 바람에 정신이 없었다.

記者たちが質問を浴びせかけてきて、気が動転しました。
- 6

옆에서 자꾸 웃어 대니 집중이 되지 않았다.

横でしきりに笑い続けるので、集中できませんでした。

■ 紛らわしいもの

- 아/어 내다

困難を克服して成し遂げます。대다 は繰り返しの激しさです。

이겨 냈다 (克服) / 울어 댔다 (わめいた)
- 곤 하다

習慣を中立的に述べます。대다 は否定的な評価が入ります。

울곤 해요 (よく泣く) / 울어 대요 (泣きわめく)
- 기 일쑤이다

困った習慣を述べます。대다 は一時の激しさに焦点があります。

늦기 일쑤다 (習慣) / 울어 댔다 (そのとき)

■ まちがえやすい点

- × 좋아 대다

○ **形容詞には使えません**

繰り返される行為につけます。
- × **올어대다** — 誤りではありません

○ **(올어 대다 が原則)**

補助動詞なので分かち書きが原則です。
- × 공부해 대다

○ **열심히 공부하다**

否定的な色があるので中立的な行為には使いません。